



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月10日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社中央製作所

コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 太田 浩

TEL 052-821-6166

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,164	18.9	0	—	7	362.7	△24	—
27年3月期第1四半期	979	9.7	△2	—	1	—	△0	—

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 △14百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 29百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△3.17	—
27年3月期第1四半期	△0.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,230	1,924	36.8
27年3月期	5,270	1,978	37.5

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 1,924百万円 27年3月期 1,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,460	8.5	79	65.2	87	57.1	52	2.4	6.70
通期	5,500	1.9	250	△18.7	264	△17.8	158	△43.2	20.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	7,843,000 株	27年3月期	7,843,000 株
28年3月期1Q	81,133 株	27年3月期	81,133 株
28年3月期1Q	7,761,867 株	27年3月期1Q	7,765,580 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調の定着に伴う輸出関連企業の好業績を背景に前期における企業収益がリーマンショック以前の水準まで回復したなど緩やかな回復基調にありました。この回復基調の中、大企業を中心とした設備投資についても前向きな姿勢が見えてまいりました。また、中堅企業においても、資金を新規雇用の拡大や従業員に還元する動きが見える等、企業マインドが全般的に積極化の方向に向かう動きが顕在化してまいりました。

こうした中、当社グループは前期の業績基礎を維持拡大すべく、新規顧客の獲得に向けた新技術開発、新製品開発に努めるとともに、競争力強化のための生産性向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の受注高は1,072百万円(前年同期比19.6%減)、売上高は1,164百万円(前年同期比18.9%増)となり、損益については、営業利益0百万円、経常利益7百万円(前年同期比362.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純損失24百万円の計上となりました。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。

(電源機器)

電源機器につきましては、世界的な二次電池の需要の高まりを受けて、前期から継続して国内電池業界向けの二次電池用充放電電源機器の受注に注力し、顧客の生産ニーズに的確に応えられる製品の提供に努めました。あわせて、表面処理装置用電源等の当社汎用製品の販路の拡大等に取り組んでまいりました。その結果、受注高は396百万円(前年同期比26.8%増)、売上高は391百万円(前年同期比8.0%増)といずれも増加いたしました。

今後につきましては、省エネルギー・省スペース化等、サステナビリティに貢献する要素技術の実用化に努め、ますます多様化する新市場に対し、積極的な技術提案を行いながら新市場開拓を図るとともに、既存市場における更なる拡販に努めてまいります。

(表面処理装置)

表面処理装置につきましては、自動車関連業界のみならず、国内における更新需要を中心に、積極的な提案と的確な対応により、受注の確保に取り組んでまいりました。その結果、受注高は349百万円(前年同期比9.1%減)と減少いたしました。売上高は426百万円(前年同期比78.6%増)と大きく増加いたしました。

今後も引き続き、設計の効率化による生産性向上をより一層推し進め、国内外の新規・更新需要の掘り起しに注力し、受注・売上の確保に努めてまいります。

(電気溶接機)

電気溶接機につきましては、国内外を問わず自動車関連業界における新規・更新需要に対応するとともに、建設資材業界など内需型産業に対する需要の掘り起しに注力してまいりました。しかしながら、受注高は135百万円(前年同期比60.3%減)、売上高は138百万円(前年同期比41.0%減)といずれも大きく減少いたしました。

今後につきましては、引き続き内需型産業の需要の掘り起しに注力するとともに、海外代理店との連携を密にして、グローバルで求められる製品の機能、性能の改良・開発を行い、新規市場開拓、受注・売上の確保・拡大を図ってまいります。

(環境機器)

環境機器につきましては、地球環境保全について国際的な取り組みが進展する中、リサイクル関連機器及び各種液管理機器の機能改善に取り組んでまいりました。当製品群は、表面処理装置に付帯する割合が大きく、受注高は88百万円(前年同期比20.1%増)、売上高は98百万円(前年同期比34.4%増)といずれも増加いたしました。

今後につきましては、モデルチェンジを行った「光沢剤自動添加装置」(AUTO-FEEDER)、「超音波洗浄機」(METACLEAN)の既存市場での更新を促すことはもとより、中国市場への深耕を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し4,270百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金、電子記録債権が240百万円増加したものの、現金及び預金が356百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し960百万円となりました。これは、投資その他の資産が19百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し5,230百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し2,542百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.1%減少し763百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が17百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し3,305百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し1,924百万円となりました。これは、利益剰余金が63百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における業績につきましては、概ね当初の予想の範囲内であるため、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,721,391	1,364,993
受取手形及び売掛金	1,411,581	1,589,387
電子記録債権	315,303	377,549
商品及び製品	97,269	85,306
仕掛品	619,282	669,860
原材料及び貯蔵品	99,425	118,998
その他	67,712	71,419
貸倒引当金	△6,410	△6,740
流動資産合計	4,325,557	4,270,774
固定資産		
有形固定資産	308,136	304,545
無形固定資産	16,321	15,710
投資その他の資産	620,789	639,892
固定資産合計	945,247	960,149
資産合計	5,270,805	5,230,924
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,186,160	1,140,801
短期借入金	840,000	840,000
未払法人税等	43,191	33,800
その他	451,109	527,671
流動負債合計	2,520,461	2,542,273
固定負債		
役員退職慰労引当金	208,400	212,150
退職給付に係る負債	502,174	485,067
その他	61,685	66,507
固定負債合計	772,260	763,724
負債合計	3,292,722	3,305,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,054,743	991,353
自己株式	△12,449	△12,449
株主資本合計	1,770,879	1,707,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195,394	205,756
為替換算調整勘定	11,809	11,679
その他の包括利益累計額合計	207,204	217,436
純資産合計	1,978,083	1,924,925
負債純資産合計	5,270,805	5,230,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	979,735	1,164,883
売上原価	745,621	902,312
売上総利益	234,114	262,571
販売費及び一般管理費	236,243	261,987
営業利益又は営業損失(△)	△2,129	583
営業外収益		
受取利息	302	23
受取配当金	3,461	4,181
持分法による投資利益	2,089	3,542
為替差益	-	78
その他	347	675
営業外収益合計	6,200	8,502
営業外費用		
支払利息	1,859	1,822
為替差損	611	-
その他	58	135
営業外費用合計	2,530	1,957
経常利益	1,540	7,128
特別損失		
固定資産処分損	70	0
特別損失合計	70	0
税金等調整前四半期純利益	1,470	7,128
法人税、住民税及び事業税	2,437	31,709
法人税等合計	2,437	31,709
四半期純損失(△)	△967	△24,580
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△967	△24,580

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△967	△24,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,180	10,361
為替換算調整勘定	△2,046	△129
退職給付に係る調整額	15,424	-
その他の包括利益合計	30,558	10,232
四半期包括利益	29,591	△14,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,591	△14,348
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	373,480	7.0
表面処理装置	459,259	50.6
電気溶接機	161,986	△43.9
環境機器	109,901	△19.9
その他	96,901	△49.6
合計	1,201,529	△5.6

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	396,250	26.8	393,854	21.9
表面処理装置	349,453	△9.1	641,248	△25.7
電気溶接機	135,254	△60.3	110,807	△54.3
環境機器	88,578	20.1	54,380	△32.6
その他	102,590	△53.9	158,310	△57.3
合計	1,072,126	△19.6	1,358,602	△27.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
電源機器	391,292	8.0
表面処理装置	426,294	78.6
電気溶接機	138,378	△41.0
環境機器	98,621	34.4
その他	110,297	55.9
合計	1,164,883	18.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。